

花きの県別生産出荷概況(12月見通し)

令和元年11月30日現在

出典:花き流通情報連絡協議会資料

品目	県名	作型	主要品種	出荷期	作付面積	出荷見込み		5月のピーク(%)			主産地	作柄及び概況
						出荷総数	京浜地域向	上旬	中旬	下旬		
				千本	千本	期間	ha					
バラ	群馬	施設 (周年)	アヴァランチェ サムライ08 ほか	周年  (5~11月)	12.2  (95%)	644  (95%)	440  (94%)	33	33	33	前橋市 富岡市 昭和村	気温の低下に伴い、ボリューム感など品質の向上が見られている。一部でうどんこ病・べと病の発生がみられるが、問題にはなっていない。昭和村についてはクリスマスまでの出荷となり、年内には出荷終了を見込む。全体としては、12月はほぼ平年並みの出荷量となる見込み。
	茨城	施設	アマダ アバランチェ サムライ 他	周年  (月)	8  (%)	300  (%)	250  (%)	33	33	33	古河市 石岡市 他	昨年並みの出荷量となる見込み。 夏場の高温の影響から、生育の悪い地区がある。
	静岡	施設	サムライ アバランチェ シンディ ベイブ	周年  (10~12月 3~5月)	43  (97%)	900  (95%)	800  (95%)	30	40	30	JALしみず JA大井川 JA掛川市 JA遠州夢咲	残暑が長引き、上位階級の発生が遅れていたが現在は解消され7-60cm中心の発生となっている。年末に向け、12月の出荷は各産地や生産者ごとに異なっており、全体としてはダラダラした数量になると思われる。クリスマス向けの赤バラは、12/15-20頃に集中的な出荷を狙っているが、ST(サムライ等)は現在ピークの産地もあり例年より少ない見込み。SPは概ね需要期にまとまる見通し。
	愛知	周年	サムライ08 アバランチェ系 ファンシーローラ シンディ	4-3月  (月)	(%)	1,960  (94%)	1,200  (94%)	25	35	40	ひまわり 西三河 愛知みなみ 豊橋	例年より9、10月の気温が高く、9月以降の新芽の立ち上がりが遅かった影響で、本来12月に出る予定の出荷分が少し遅れている状況。11月上旬~中旬にかけて出荷量が増加したため、次の出荷の山は、サイクルから考えて1月上旬ごろとなる可能性がある。
アル リス アト ロメ	長野	周年	ピンクティアラ ハニーソフィア ホワイトニー ピンクサプライズ	周年  (4月)	25  (101%)	1,050  (101%)	420  (101%)	30	30	35	上伊那 諏訪 佐久 松本	朝晩の冷え込みから、年内出荷分の生育停滞が懸念される状況であるが、平年並みの数量を出荷できるよう加温指導を行っている。発色の良い花に仕上がっている。

花きの県別生産出荷概況(12月見通し)

令和元年11月30日現在  
出典：花き流通情報連絡協議会資料

品目		販売における現状と今後の見通し	
バラ	現状	国産は先月少なかった分やや増加。輸入品はケニア産が昨年と比べやや減少(大田)。愛知や栃木、静岡など西南暖地にシフト。出荷数量減少し、相場は比較的安定(FAJ)。入荷は昨年並。ブライダル動きは好調だが、小売りの動きは鈍い(世田谷花き)。低温で入荷減少と婚礼需要が重なり高単価で推移したが、後半高値疲れでだらだらした相場展開となった(東日本板橋花き)。国産輸入共に、日々増減の山あり価格不安定(東京FP)。	
	見通し	大田花き	国産は上旬はやや少なめの入荷見込み。中旬～下旬にかけて数量は増加傾向。輸入品は赤系中心に潤沢な入荷が見込まれる。
		FAJ	引き続き西南暖地主体の入荷に。
		世田谷花き	入荷量は昨年並みの見込み。赤系中心に引き合い強まる見込み。
		東日本板橋花き	急激な増量は無く横ばい。販売は年末需要に向けて引き合い強まる。
		東京フラワーポート	国産は例年並みの入荷見込み。クリスマス需要で輸入は赤増加。
アルストロメリア	現状	国産が全体的に多くなく、葬儀需要中心に引き合い強め(大田)。長野・山形より入荷。数量は平年並みで相場も安定(FAJ)。長野県産中心に徐々に数量増量も引き合い強い(世田谷花き)。愛知・青森中心の入荷。昨年より若干少なめの入荷量(東日本板橋花き)。入荷が少なく、価格は時期としては高騰傾向(東京FP)。	
	見通し	大田花き	国産が白・ピンク・黄色中心に増加していく。山形・長野が増加となる。他産地についても、中旬以降に愛知が微増となる。
		FAJ	引き続き長野・山形より入荷。年末需要に向けて数量徐々に増加予定。
		世田谷花き	上旬やや鈍いが、年末に向けて強くなる。
		東日本板橋花き	愛知・青森中心の入荷。昨年並みの出荷予定。天候次第で入荷の増減あり。
		東京フラワーポート	愛知の入荷が回復し徐々に増加してくるが、昨年よりは少ない見込み。
ストック	現状	山形がメインとなり、SP系、ST系ともに安定入荷。千葉は、例年11月後半からだが、本年は台風の影響で遅れての出荷開始となる。需要面では寒さもあり、葬儀、量販、小売りなど様々なカテゴリーで使用され、引き合いがあった(大田)。山形などより入荷。数量は平年並み(FAJ)。山形県産が出荷のピークを迎える。例年、中下旬に千葉からの出荷始まるが、台風被害で望めず(世田谷花き)。山形産だけみると例年並みの入荷だが、千葉産が天候被害で価格は高騰(東京FP)。	
	見通し	大田花き	山形中心に安定入荷となるが、例年出荷が始まる千葉産が著しく少なくなるため年末需要に対して供給不足となる。
		FAJ	千葉県産の商品は台風被害が甚大で出荷数量見込み立たず。
		世田谷花き	山形・福島などからの入荷。千葉産は例年の1/4以下になりそう。
		東京フラワーポート	千葉産からの荷は期待薄。高冷地産中心の販売となる。